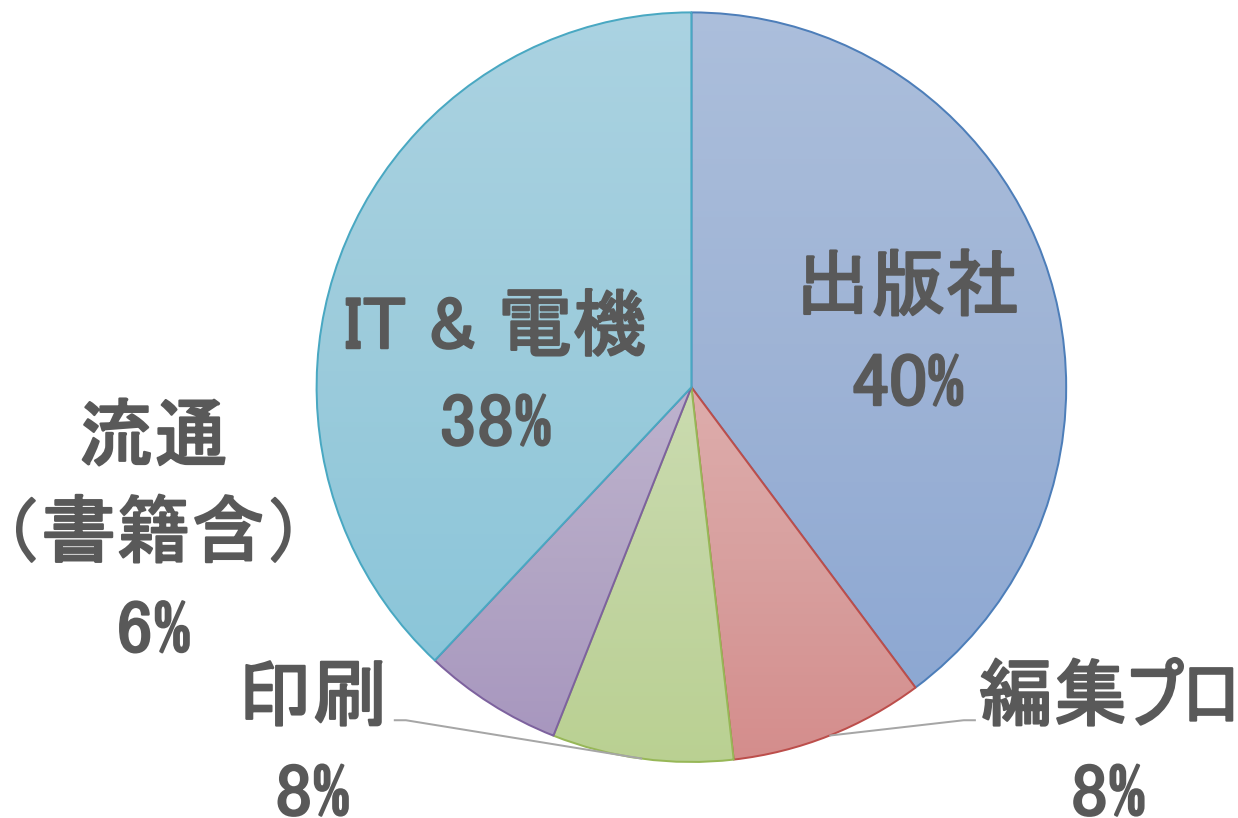




一般社団法人
日本電子出版協会
Japan Electronic Publishing Association



創立:1986年 会員100社 業界を跨ぐ、技術志向の団体で、技術仕様の標準化、広く世の中に向けた提言などを行っています。

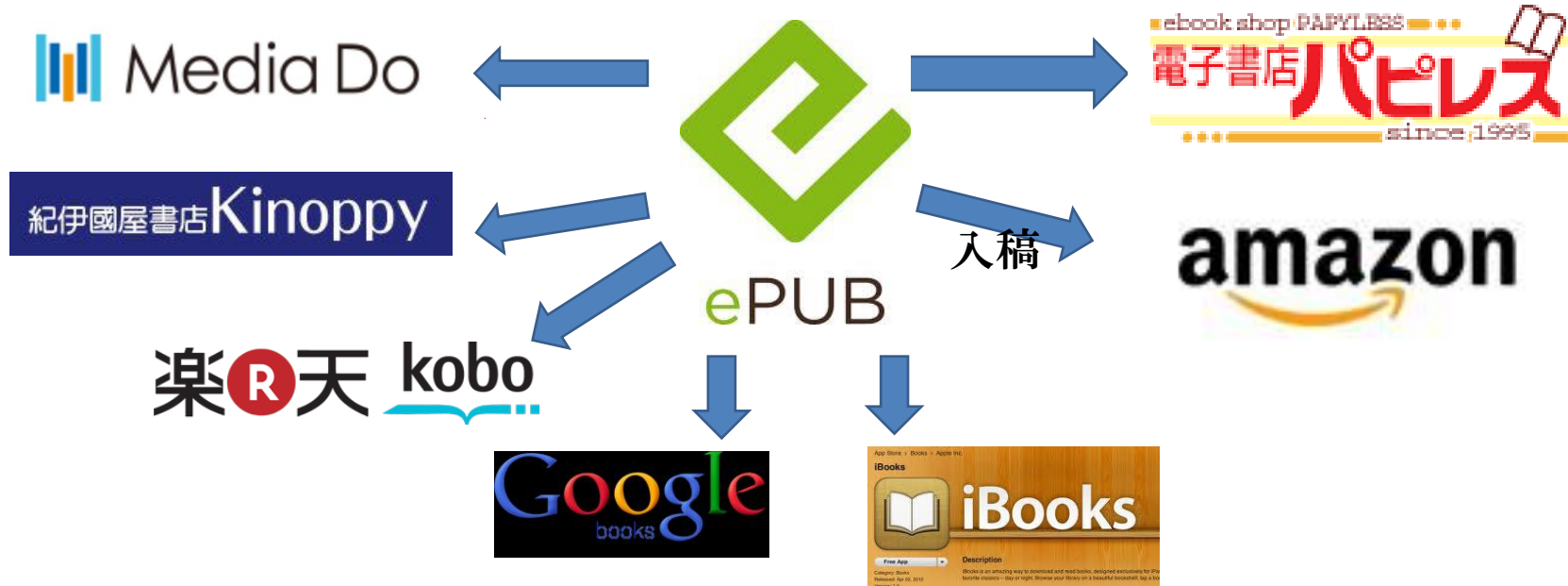


JEP Aが貢献した業界標準規格

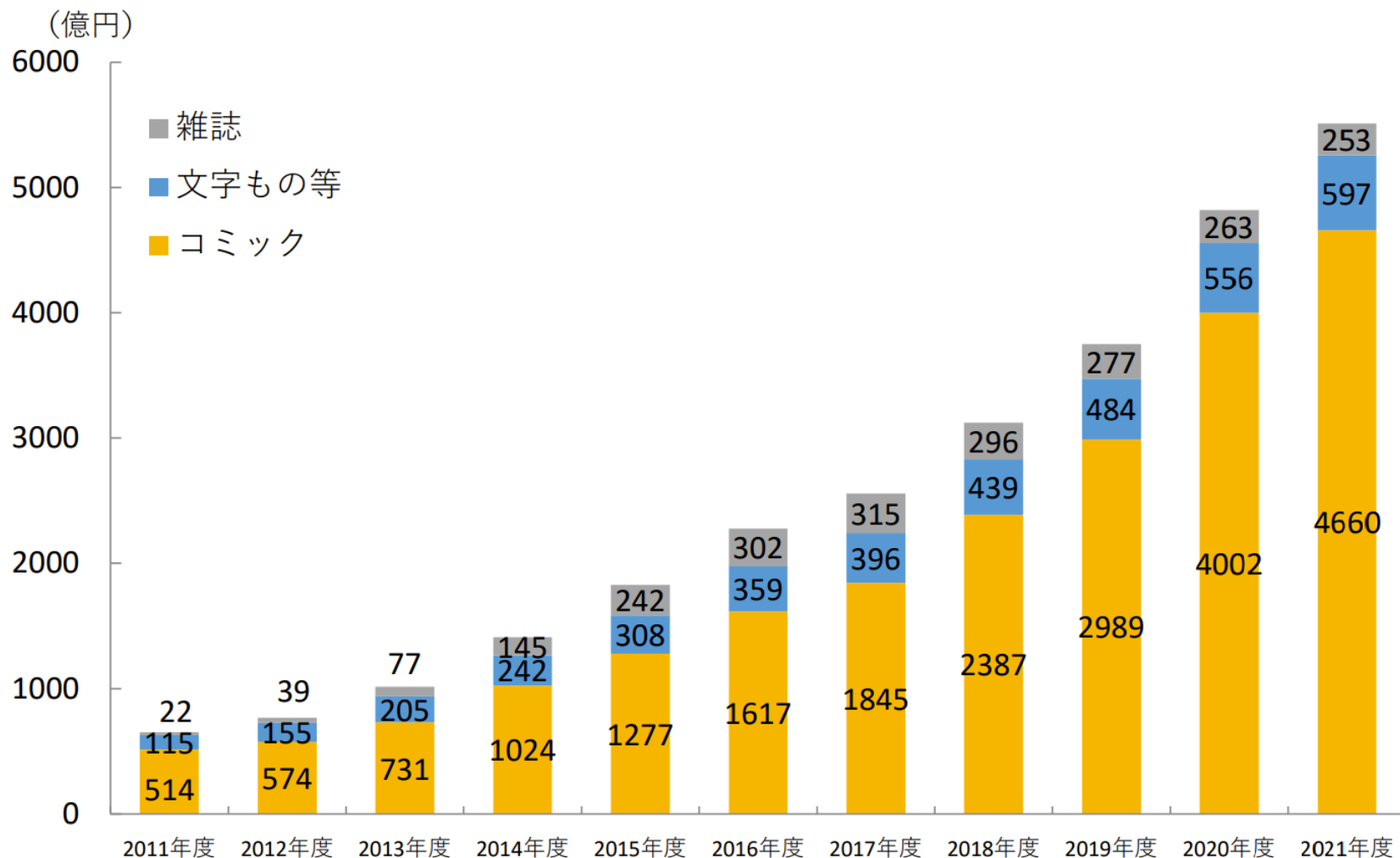
- (1) 日本語対応CD-ROM標準論理フォーマット
- (2) EPWINGフォーマット
- (3) 日本語電子出版検索データ構造(X4081)
- (4) World Font CD-ROM
- (5) 日本語電子書籍交換フォーマット JepaX
- (6) 図書館館外貸出可否識別マーク
- (7) 電子辞書のLAN使用基準
- (8) EPUB日本語拡張仕様の策定

世界のデバイスで 日本語が読める環境を整備

シャープ(XMDF)、ボイジャー(dotbook)をベースにした日本語中間フォーマットは、国内の官民あがでの合意にもかかわらず、多くの開発リソースを投入しても、まったく普及することなく消滅した。JEPA CTO村田真が中心となりEPUB3日本語拡張(実は多言語対応)のために小林龍生、村上真雄、石井宏治、UC BerkeleyのElika 等がボランティアで集結、短期に完成させた。日本語だけを優先したのではなく中国語やアラブ・ユダヤの言語も扱った。その結果、日本の貢献は真の国際的な活動として敬意が得られた。 IT戦略本部の2011年「今年の10大成果」



電子書籍の市場規模 2011-2021



(c)インプレス総合研究所 『電子書籍ビジネス調査報告書2022』

小規模校と大規模校で、 読める冊数に大きな格差

学校図書館図書標準

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/hourei/cont_001/016.htm

ア 小学校

学級数	蔵書冊数
1	2,400
2	3,000
3～6	$3,000 + 520 \times (\text{学級数} - 2)$
7～12	$5,080 + 480 \times (\text{学級数} - 6)$
13～18	$7,960 + 400 \times (\text{学級数} - 12)$
19～30	$10,360 + 200 \times (\text{学級数} - 18)$
31～	$12,760 + 120 \times (\text{学級数} - 30)$

イ 中学校

学級数	蔵書冊数
1～2	4,800
3～6	$4,800 + 640 \times (\text{学級数} - 2)$
7～12	$7,360 + 560 \times (\text{学級数} - 6)$
13～18	$10,720 + 480 \times (\text{学級数} - 12)$
19～30	$13,600 + 320 \times (\text{学級数} - 18)$
31～	$17,440 + 160 \times (\text{学級数} - 30)$

小中学校 学校図書館

！ 令和4年度からの5年間で、全ての小中学校等において学校図書館図書標準の達成を目指すとともに、図書の更新、新聞の複数紙配備および学校司書の配置拡充を図ります。

単年度総額 **480** 億円 / 5 か年総額 **2,400** 億円

各学校における**学校図書館図書標準※達成**を目指すための**新たな図書の整備**に加え、児童生徒が正しい情報に触れる環境整備等の観点から、図書の廃棄・更新を進めるための**選定基準・廃棄基準**を策定し、**古くなった本を新しく買い替えることを促進**します。

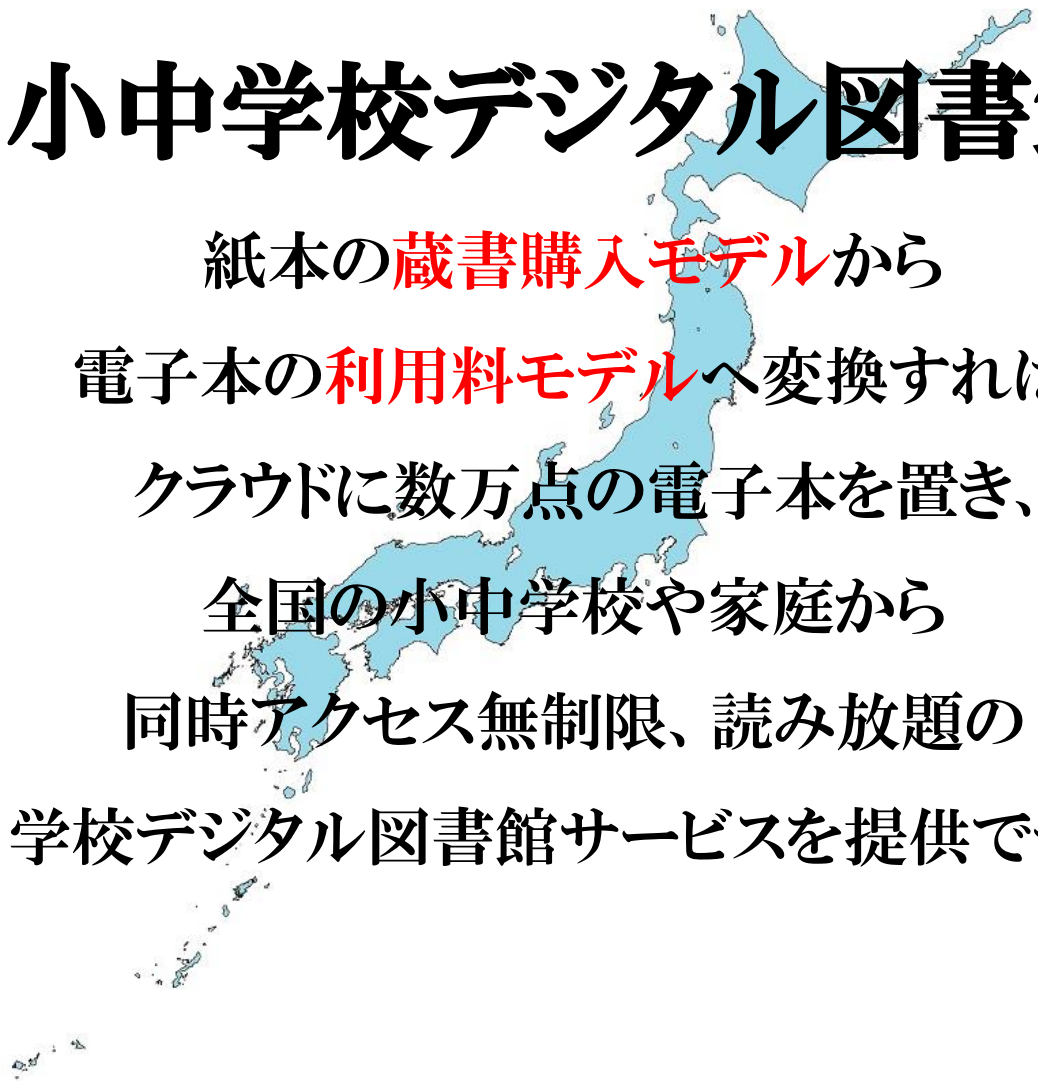
単年度 **199** 億円 / 総額 **995** 億円
(不足冊数分) (更新冊数分)
単年度 **39** 億円 / 総額 **195** 億円 単年度 **160** 億円 / 総額 **800** 億円

本計画の目標

学校図書館図書標準 **100%** 達成
計画的な**図書の更新**を実施

学校図書館図書の整備





小中学校デジタル図書館

紙本の蔵書購入モデルから
電子本の利用料モデルへ変換すれば
クラウドに数万点の電子本を置き、
全国の小中学校や家庭から
同時アクセス無制限、読み放題の
学校デジタル図書館サービスを提供できる

提言

1. 国は小中学校児童生徒1人1台の端末整備に合わせて、学校や家庭から同時アクセス無制限、読み放題の学校デジタル図書館サービスを提供する。
2. 小中学校の児童生徒向けに出版された多様なデジタル本、紙の本は読めない子どものためにアクセシビリティに配慮したデジタル本、母国語が日本語ではない子どもが読む外国語のデジタル本を提供する。
3. サービス利用料は、全額国の負担とする。

小さな学校の私達は 本が読めなくても
我慢しなければならないのですか？



学校デジタル図書館が解決する

学校図書館図書標準

文部科学省

ア 小学校

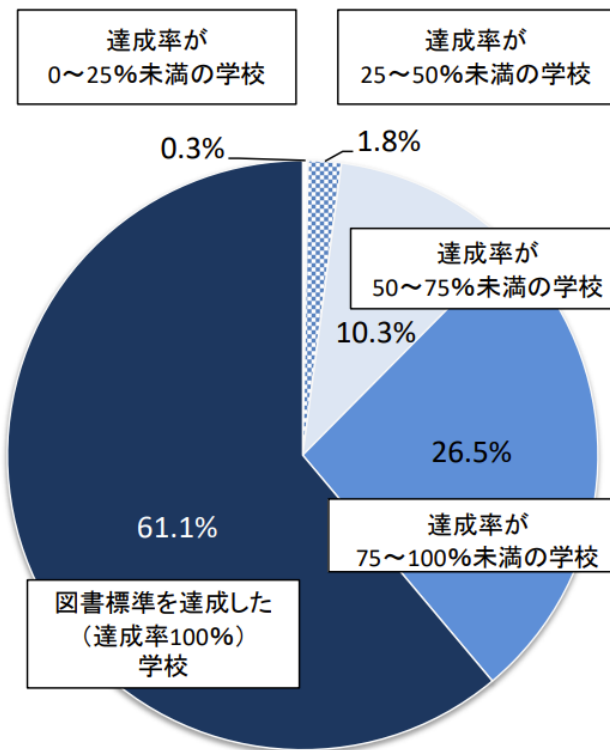
学級数	蔵書冊数
1	2,400
2	3,000
3～6	$3,000 + 520 \times (\text{学級数} - 2)$
7～12	$5,080 + 480 \times (\text{学級数} - 6)$
13～18	$7,960 + 400 \times (\text{学級数} - 12)$
19～30	$10,360 + 200 \times (\text{学級数} - 18)$
31～	$12,760 + 120 \times (\text{学級数} - 30)$

イ 中学校

学級数	蔵書冊数
1～2	4,800
3～6	$4,800 + 640 \times (\text{学級数} - 2)$
7～12	$7,360 + 560 \times (\text{学級数} - 6)$
13～18	$10,720 + 480 \times (\text{学級数} - 12)$
19～30	$13,600 + 320 \times (\text{学級数} - 18)$
31～	$17,440 + 160 \times (\text{学級数} - 30)$

教科書はデジタルになったのに、
リファーマされる図書資料は紙の本？

【中学校】



学校図書館図書標準の達成状況